

平成22年6月24日
東北地方整備局

岩手・宮城内陸地震に伴う体制の解除

岩手・宮城内陸地震災害に伴う河道閉塞（天然ダム）等に対応するため、栗原市役所内に平成20年6月20日から設置していた東北地方整備局の「災害現地対策本部」を本日午前11時に廃止しました。

あわせて、岩手・宮城内陸地震災害に係る災害対策体制も解除しましたので、お知らせいたします。

（理由）

東北地方整備局では、天然ダムに対する応急的・緊急的な対策工事（直轄砂防災関連緊急事業）が平成22年3月末までに完了したこと、また、その後の融雪期における出水を経験し、ヘリコプターからの上空調査や現地踏査による点検においても、天然ダムに異常は認められず、当面、天然ダムの決壊による下流への危険は回避されたものと判断されることから、栗原市役所内に設置していた災害現地対策本部を廃止することとしました。

また、あわせて岩手・宮城内陸地震災害に係る災害対策体制も解除しました。

今後は「直轄特定緊急砂防事業」により抜本対策として砂防堰堤等の整備を集中的・重点的に実施します。また、監視カメラ、雨量、水位などの監視を継続し、必要に応じて災害対策体制を設置するとともに、関係機関との連絡体制を確保します。

（発表記者会）

宮城県政記者会、岩手県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 tel 022-225-2171（代）

（本部廃止について）企画部 防災課 課長 熊谷 順子（内線3411）

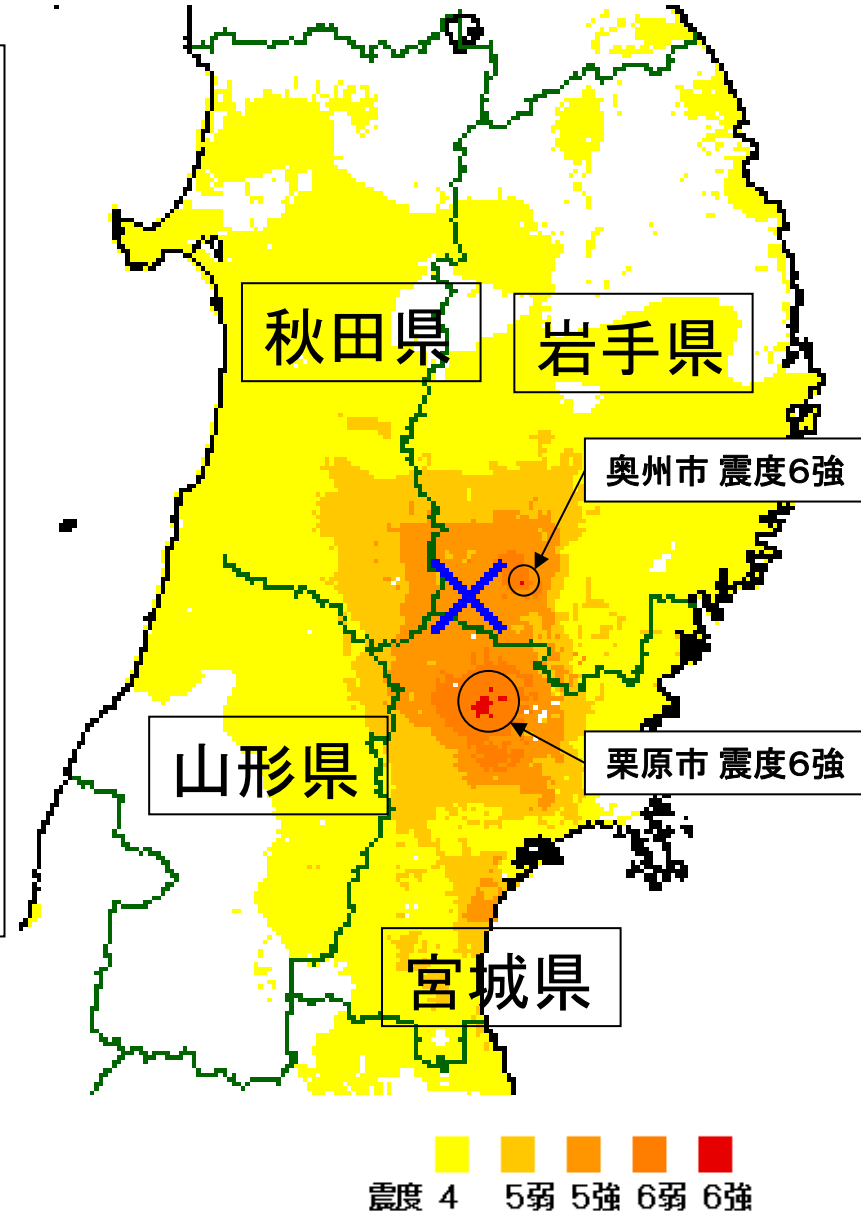
（砂防事業について）河川部 河川計画課 建設専門官 小竹 利明（内線3616）

平成20年6月14日発生
岩手・宮城内陸地震の概要

- ・地震発生時刻:平成20年6月14日 8時43分
- ・地震の規模 :M7.2
- ・震源の深さ :8km
- ・震源の位置 :北緯39° 1.7' 東経140° 52.8'
- ・震度 :最大震度 6強
- ・人的被害 :死者・行方不明者23名
(うち18名が土砂災害による犠牲)
- ・一般被害 :全壊30棟 半壊146棟
一部損壊2,521棟
火災4件

○被害の特徴

大規模な河道閉塞(天然ダム)が15箇所で形成され、天然ダム決壊という二次災害を防止する必要があった。



河道閉塞(天然ダム)への応急対策 ～直轄砂防災害関連緊急事業 実施箇所(8地区9箇所)～



専門家による現地調査(平成22年6月3日実施)

湯ノ倉地区の上空からの調査状況




地上からの調査状況

湯浜地区の上空からの調査状況




地上からの調査状況

へり調査結果 個票

番号	宮城県⑧	箇所名	(ゆばま) 湯浜地区
河川名	迫川	所在地	宮城県栗原市
5月25日			
4月30日			

へり調査結果 個票

番号	宮城県⑤	箇所名	(ゆのくらおんせん) 湯ノ倉温泉地区
河川名	迫川	所在地	宮城県栗原市
5月25日			
4月30日			

へり調査結果 個票

番号	岩手県②	箇所名	(いちののぼら) 市野々原地区
河川名	磐井川	所在地	岩手県一関市

状況写真

5月25日	
4月30日	

河道閉塞土砂を安定させるための抜本対策 ～直轄特定緊急砂防事業 実施箇所(8箇所)～

- ・これまでの排水施設の設置等の応急対策により、天然ダム決壊という壊滅的な二次災害を防ぐことができ、**当面の安全は確保されました。**
- ・今後は砂防堰堤等の整備により、**河道閉塞土砂を安定させるなどの抜本対策**(直轄特定緊急砂防事)にとりかかります。

